

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第40週 (10/2-10/8) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		40週	39週	38週	37週
小児科		17	18	18	16
眼科		4	5	5	4
インフルエンザ*		27	28	28	25
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	10/2-10/8	9/25-10/1	9/18-9/24	9/11-9/17	9/25-10/1
			40週	39週	38週	37週	39週
小児科	RSウイルス感染症		11 0.65	18 1.00	20 1.11	31 1.94	233 1.73
	咽頭結膜熱		2 0.12	7 0.39	3 0.17	5 0.31	30 0.22
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23 1.35	29 1.61	16 0.89	33 2.06	240 1.78
	感染性胃腸炎	○	51 3.00	42 2.33	45 2.50	51 3.19	351 2.60
	水痘		2 0.12	6 0.33	2 0.11	2 0.13	30 0.22
	手足口病	↓★	50 2.94	66 3.67	81 4.50	100 6.25	474 3.51
	伝染性紅斑		0 0.00	3 0.17	0 0.00	0 0.00	7 0.05
	突発性発しん		7 0.41	13 0.72	2 0.11	8 0.50	61 0.45
	百日咳		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.02
	ヘルパンギーナ		9 0.53	13 0.72	21 1.17	30 1.88	173 1.28
	流行性耳下腺炎		0 0.00	5 0.28	5 0.28	5 0.31	37 0.27
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		3 0.11	4 0.14	3 0.11	9 0.36	35 0.16
	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
眼科	流行性角結膜炎		3 0.75	3 0.60	0 0.00	2 0.50	31 0.89
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	2 0.22
基幹定点	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	8 0.89
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(5件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	IGRA検査	結核	女性	60歳代	IGRA検査等
結核	男性	70歳代	画像診断等	結核	女性	70歳代	IGRA検査等
結核	女性	60歳代	IGRA検査	-	-	-	-

・第40週は、結核5件(174)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第40週のコメント

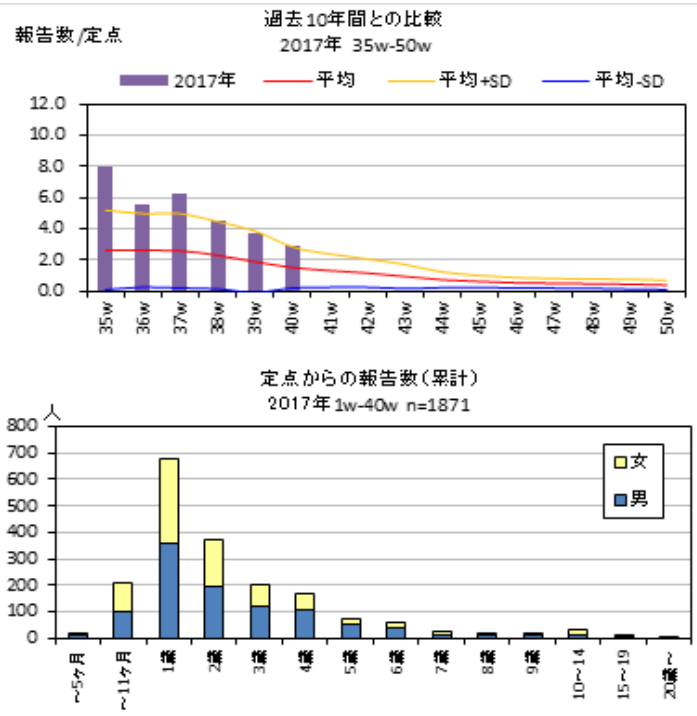
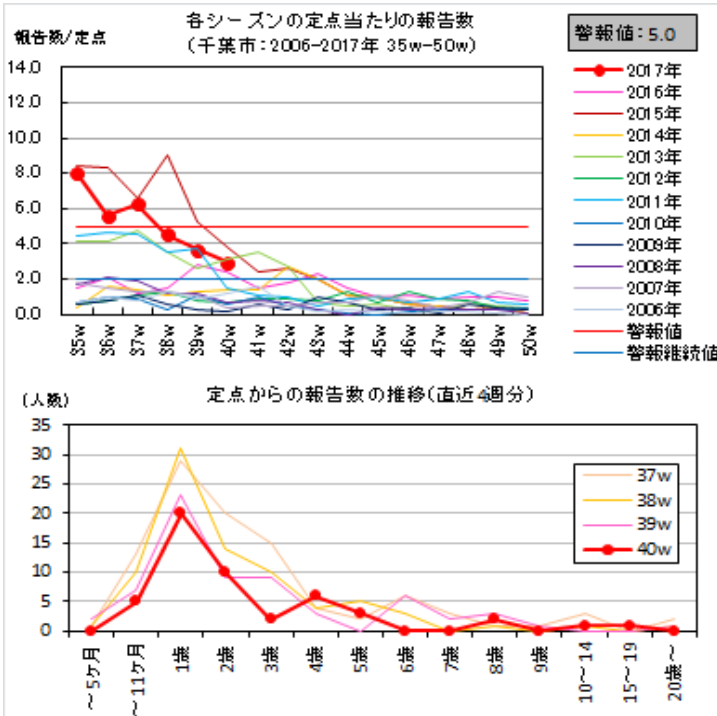
<感染性胃腸炎> 前週より増加し3.0となった。過去10年の同時期と比べると平均レベル。

<手足口病> 前週より減少し2.94となったが、流行発生警報終息基準値は上回ったままで、過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

<手足口病>

全国レベルの第39週は、流行発生警報終息基準値(2.0/定点)を上回ったままで過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では福島県、茨城県、宮城県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市の2017年第40週は前週より減少し2.94となりましたが、流行発生警報終息基準値は上回ったままで、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、稲毛区(5.0/定点)で流行発生警報開始基準値(5.0/定点)と並び最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。他に若葉区及び緑区で流行発生警報終息基準値を上回っています。2017年第1週から第40週までの累積報告数(n=1871)によると、性別では男性が54.7%(1023名)、女性が45.3%(848名)で、年齢階級別では1歳(36.2%:678名)、2歳(20.0%:374名)、6~11か月(11.0%:205名)の順に多くなっています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第38週は過去10年の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では大分県、岡山県、宮崎県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の2017年第40週は前週より増加し3.0となりました。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。例年の発生動向によりますと、今後増加する傾向があります。区別の発生状況は、若葉区(9.0/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第40週の報告数(n=254)によると、性別では男性が52.4%(133名)、女性が47.6%(121名)で、年齢階級別では1歳(18.1%:46名)、2歳(15.0%:38名)、4歳(11.4%:29名)の順に多くなっています。

